

平成12年度当初予算の概要

21世紀に向けて 508億2,912万円を計上

会計別予算総括表 (単位：千円)

区分	12年度当初予算額	11年度予算額 (6月補正後)	伸率(%)
一般会計	21,680,868	22,905,591	▲5.3
特別会計	19,320,418	15,939,400	21.2
国民健康保険	5,428,147	5,004,584	8.5
介護保険	2,835,399	—	皆増
老人保険	497,028	—	皆増
老人保険	6,672,373	7,424,854	▲10.1
温泉開発	12,996	25,745	▲49.5
奨学資金	32,138	31,428	2.3
卸売市場	25,489	26,173	▲2.6
土地取得	13,449	14,273	▲5.8
都市計画	1,129,150	1,063,698	21.8
下水道	1,776,114	1,718,690	3.3
農業集落排水	780,295	509,806	53.1
公営駐車場	49,967	50,337	▲0.7
急患センター	46,817	49,220	▲4.9
上川沿	547	740	▲26.1
下川沿	98	251	▲61.0
片山	15,365	14,557	5.6
川口	1,574	1,572	0.1
餅田	1,886	1,886	0.0
立花	1,586	1,586	0.0
企業会計	9,827,833	9,857,536	▲0.3
病院	7,591,333	7,432,885	2.1
水道	2,013,465	2,286,178	▲11.9
工業用水道	223,035	138,473	61.1
合計	50,829,119	48,702,527	4.4

大館市の平成十二年度予算が、三月定例市議会で可決され、成立しました。

景気の長期低迷など国、地方を取り巻く財政状況は依然として厳しいものがあります。今年度予算では、第二次行政改革大綱に基づき、経費全般にわたって徹底した節減と補助金・負担金などの整理合理化に努めました。一方では、「二十一世紀に向けた街づくり」を展望し、環境保全、少子高齢化、景気浮揚対策及び介護保険の円滑導入など、健康で豊かな市民生活環境の形成のために、限られた財源の効率的な配分に配慮しました。ここでは、予算全体の概要と主な施策についてお知らせします。

歳入

財源の根幹をなす市税は、前年度の六月補正予算後と比べ、率で〇・九%、額で五千九百四十五万八千円の減少になりました。減少となった主な要因は、固定資産税が評価替えの年度にあたり、土地に係る負担水準の上限引き下げなどにより四・三%の減となったことがあげられます。また、地方交付税は、一・五%の減少と見込みました。

現時点では予想のつかない要素もあることから、今年度も各基金の有効活用を考慮に入れながら、重点事業の計画的な推進を図っていきます。

歳出

昨年度で五大プロジェクトも老人福祉総合エリア整備二期工事を残し一区切りとし、今後は住民ニーズに対応したソフト面に重点を置き、計画的に推進することになりました。

このため、一般会計の予算総額は二百十六億八千八百八千円となり、前年度六月補正後と比べ、率では五・三%、額で十二億二千四百七十二万三千円の減少になりました。また、投資的経費は一